



都道府県名	病床確保計画（一般フェーズ）														病床確保計画（緊急フェーズ）（※1）										
	フェーズ1		フェーズ2		フェーズ3		フェーズ4		フェーズ5		フェーズ6		病床確保計画（緊急フェーズ）		緊急フェーズⅠ		緊急フェーズⅡ		緊急フェーズⅢ						
	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け	移行基準	即応病床（計画）数	うち重症者向け		
26 京都府	679	5,990	703 30	152 0	入院者数、新規入院者数等の状況を見ながら、専門家の意見も踏まえて総合的に判断	892 110	171 0							679	5,990		892 110	171 0							
27 大阪府（※4）	3,833	39,702	1,470 0	170 0	重症：およそ100人以上（フェーズ1の病床数170床の60%） 軽症中等症：およそ780人以上（フェーズ1の病床数1,300床病床数の60%）	2,290 0	240 0	重症：およそ168人以上（フェーズ2の病床数240床の70%） 軽症中等症：およそ1,435人以上（フェーズ2の病床数2,050床の70%）	2,730 0	330 0				3,833	39,702		3,710 0	610 0							
28 兵庫県	1,088	7,897	300 0	30 0	新規陽性者1週間平均20人以上または病床利用率10%以上	600 0	60 0	新規陽性者1週間平均80人以上または病床利用率20%以上	1,000 0	100 0	新規陽性者1週間平均400人以上または病床利用率50%以上	1,200 0	120 0	1,088	7,897	感染状況等を踏まえ総合的に判断	1,417 0	142 0							
29 奈良県	227	1,734	0 0	0 0	今後の感染状況を踏まえて、決定 上り：病床利用率50%を1つの目安として、感染状況を踏まえて決定 下り：感染状況を踏まえて、今後検討	392 0	32 0	下り：感染状況を踏まえて、今後検討	509 0	34 0				227	1,734	感染者が増え、救急搬送の受入先が見つからないような状況が発生した時	509 0	34 0							
30 和歌山県	104	777	167 0	17 0	国内外の状況を総合的に判断	470 0	26 0	基準日（週当たり新規感染者数15人/10万人）等、総合的に判断	620 0	40 0				104	777	基準日（週当たり新規感染者数15人/10万人）等、総合的に判断	620 0	40 0							
31 鳥取県	47	325	144 0	19 0	入院患者数がフェーズ1の即応病床数の4割に達する日	239 0	30 0	入院患者数がフェーズ2の即応病床数の4割に達する日	350 5	47 0				47	325	感染状況を総合的に判断して対応	350 5	47 0							
32 島根県	45	450	129 0	5 0	入院患者総数が30人となった日若しくは重症者が3人となった日	160 0	10 0	入院患者総数が50人となった日	214 0	16 0	入院患者総数が100人となった日	264 0	25 0	45	450	入院患者総数が100人を超え一般フェーズ4に入ってもまだ、大規模なクラスターの発生等、患者の増加が見込まれ、総合的な観点から病床確保が必要と判断した日	368 0	28 0							
33 岡山県	307	1,893	207 0	27 0	直近1週間における新規感染者数が10万人当たり2.5人を超えたとき	400 0	37 0	稼働病床が100床を超えたとき	500 0	51 0	稼働病床が200床を超えたとき	554 0	68 0	307	1,893	稼働病床が200床を超えたとき	554 0	68 0							
34 広島県	111	903	344 0	32 0	新規感染者が継続的に発生	420 0	35 0	直近7日間の10万人当たり新規感染者数4人以上	521 0	39 0	直近7日間の10万人当たり新規感染者数15人以上	593 0	46 0	358	3,091	直近7日間の10万人当たり新規感染者数25人以上	814 56	58 0	直近7日間の10万人当たり新規感染者数50人以上	960 106	62 0				
35 山口県	206	1,400	136 0	8 0	陽性者数の増減状況等を総合的に判断	223 0	12 0	陽性者数の増減状況等を総合的に判断	452 0	23 0	陽性者数の増減状況等を総合的に判断	581 0	47 0	206	1,400	陽性者数の増減状況等を総合的に判断	681 0	47 0							
36 徳島県	77	605	118 0	6 0	入院患者数が20人となった日	142 0	6 0	入院患者数が70人となった日	175 0	16 0	入院患者数が120人となった日	234 0	25 0	77	605	入院患者数が180人となった日	263 22	25 0							
37 香川県	111	867	152 0	17 0	入院患者がフェーズ1の病床数の3分の1を超える	189 0	21 0	入院患者がフェーズ2の病床数の2分の1を超える	264 0	30 0				111	867	入院患者がフェーズ3の病床数の2分の1を超える	289 20	30 0							
38 愛媛県	90	655	133 0	6 0	①週当たり新規陽性者数34人（2.5人/10万人）に到達した場合 ②入院患者数が一般フェーズ最大確保病床の10%（27人）に到達した場合 ※陽性者の増加傾向等の状況を踏まえ、総合的に判断する。	167 0	10 0	①週当たり新規陽性者数101人（7.5人/10万人）に到達した場合 ②入院患者数が一般フェーズ最大確保病床の20%（53人）に到達した場合 ※陽性者の増加傾向等の状況を踏まえ、総合的に判断する。	263 0	19 0				153	1,110	入院患者数が一般フェーズ最大確保病床の50%（131人）に到達した場合 ※陽性者の増加傾向等の状況を踏まえ、総合的に判断する。	316 10	26 0							
39 高知県	60	500	88 0	16 0	フェーズ1の病床数の10%が利用された段階	164 0	16 0	フェーズ2の病床数の20%が利用された段階	200 0	16 0	フェーズ3の病床数の35%が利用された段階	251 0	24 0	127	851	フェーズ5の病床数の60%が利用された段階	262 0	24 0	310 0	58 0					
40 福岡県	1,253	11,563	353 0	77 0	入院者数100人以上 ※入院者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	542 0	91 0	入院者数160人以上 ※入院者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	792 0	106 0	入院者数240人以上 ※入院者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	1,315 0	190 0	1,253	11,563	入院者数660人以上 ※入院者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	1,558 0	206 0	1,558 0	206 0					
41 佐賀県	182	1,322	135 0	3 0	入院患者数が25人となったとき	217 0	8 0	入院患者数が50人となったとき	355 10	24 0	入院患者数が90人となったとき	531 50	42 0	182	1,322	入院患者数が130人となったとき	545 50	48 0	545 50	48 0					
42 長崎県	137	983	76 0	21 0	即応病床の3分の1以上使用	142 0	21 0	即応病床の2分の1以上使用	278 0	21 0	二次医療圏ごとに確保する即応病床の2分の1以上使用	440 0	36 0	170	1,220	新規感染者数の7日間移動平均が33人を超えたとき	509 0	40 0	総合的に判断	561 0	40 0				
43 熊本県	300	2,337	569 0	49 0	以下のいずれかに該当した場合 ①即応病床利用率が25%を上回る状況が続く場合 ②その他、高齢者施設でのクラスター発生等により体制移行が必要となる場合	688 0	53 0							300	2,337	即応+準備病床利用率が60%を上回る状況が続く場合	797 0	68 0	即応+準備病床+緊急時確保病床利用率が70%を上回る状況が続く場合	824 0	68 0				
44 大分県	523	3,046	361 0	34 0	・重症者用病床利用率10%以上・病床使用率10%以上・感染経路不明者割合30%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	408 0	34 0	・重症者用病床利用率20%以上・病床使用率20%以上・感染経路不明者割合50%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	417 0	34 0	・重症者用病床利用率50%以上・病床使用率50%以上・感染経路不明者割合50%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	508 0	43 0	523	3,046	・重症者用病床利用率50%以上・病床使用率50%以上・感染経路不明者割合50%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	508 0	43 0							
45 宮崎県	221	1,724	225 0	12 0	新規感染者や入院患者の状況等を踏まえ、総合的に判断	271 0	15 0							221	1,724	新規感染者や入院患者の状況等を踏まえ、総合的に判断	346 0	15 0							
46 鹿児島県	199	1,679	45 0	1 0	フェーズ1の即応病床に対する3日間の病床使用率が30%以上に達した場合	294 0	6 0	フェーズ2の即応病床に対する3日間の病床使用率が40%以上に達した場合	421 0	11 0	フェーズ3の即応病床に対する3日間の病床使用率が50%以上に達した場合	564 0	33 0	251	2,119	フェーズ4の病床使用率が60%以上に達した場合	657 0	37 0	緊急フェーズ1の病床使用率が70%以上に達した場合	720 0	38 0				
47 沖縄県	262	1,656	117 0	16 0	入院患者が10人を超えたとき	175 0	19 0	入院患者が23人を超えたとき	275 0	30 0	入院患者が150人を超えたとき	462 0	49 0	809	6,744	入院患者が500人を超えたとき	639 0	60 0	入院患者が630人を超えたとき	859 0	68 0	入院患者が720人を超えたとき	920 0	73 0	
全国計（※2）	23,111	200,751	病床確保計画（一般フェーズ）	確保病床（計画）数	41,417	確保病床（計画）数（うち臨時の医療施設等）	815	確保病床（計画）数（うち重症者向け）	4,000	確保病床（計画）数（うち重症者向け）	0	確保病床（計画）数（うち重症者向け）	0	病床確保計画（緊急フェーズ）	31,600	267,844	最大確保病床（計画）数	45,733	最大確保病床（計画）数（うち重症者向け）	1,915	最大確保病床（計画）数（うち重症者向け）	4,353	最大確保病床（計画）数（うち重症者向け）	0	

（※1）病床確保計画（緊急フェーズ）は、感染者急増時の緊急的な患者対応方針に基づく計画を指す。

（※2）「即応病床（計画）数」、「即応病床（計画）数（うち臨時の医療施設等）」、「うち重症者向け即応病床（計画）数」、「うち重症者向け即応病床（計画）数（うち臨時の医療施設等）」の全国計については、各自治体の一般フェーズ・緊急フェーズにおける各最終フェーズにおける数を合計している。

（※3）東京都の重症者向け病床数は東京都基準（人工呼吸器又は体外式心肺補助（ECMO）による管理が必要な患者用の病床）により集計したものであり、国基準（集中治療室（ICU）・ハイケアユニット（HCU）等での管理、人工呼吸器又は体外式心肺補助（ECMO）による管理が必要な患者用の病床）により集計した東京都の重症者向け病床数は一般フェーズにおける最終フェーズ及び緊急フェーズにおける最終フェーズにおいて1,468床となる（その場合、一般フェーズにおける最終フェーズの重症者向け確保病床数は全国合計で4,958床、緊急フェーズにおける最終フェーズの重症者向け確保病床数は全国合計で5,311床となる）。

（※4）大阪府の重症者向け病床数は大阪府基準により集計したものである。

（※5）沖縄県の即応病床（計画）数（うち重症者向け）について修正。（2月25日修正）